



心と心をつなぐ月に ～「6月はふれあい月間」です～



運動会では、保護者の皆様の温かい声援をいただき、誠にありがとうございました。子どもたちが目標に向かって全力で頑張る姿、そして仲間を一生懸命応援する姿に、大きな成長を感じる素晴らしい1日となりました。新しい学年がスタートして2か月が経ちました。今後は、この運動会を通して高まった絆を大切にしながら、「お互いの違いを認め合う力」をさらに育てていきたいと考えています。自分と人は違って当たり前であることを受け入れ、互いを尊重し合うことが、いじめ防止の第一歩につながるからです。

6月は「ふれあい月間」です。子どもたちが安心・安全に過ごせる学校をつくるため、本校では全児童を対象とした「いじめアンケート」を実施し、小さなサインも見逃さないよう取り組んでまいります。また、日々の生活の中で互いを認め合うための具体的なキーワードとして、今月はいじめを防止し、「折り合いの付け方」と「丁寧な言葉遣い」に2つにスポットを当てて指導を行っていきます。

○学級活動で学ぶ「折り合いの付け方」

6月13日の土曜授業では、全クラスで「学級会」を行い、折り合いの付け方を学びます。運動会では、「みんなで1つの目標に向かって一致団結する」心地よさを味わいましたが、日常の学校生活では、一人一人の意見や思いがぶつかることも当然あります。自分の意見を主張するだけでなく、相手の意見も聞きながら着地点を見付ける「折り合いの付け方」は、一朝一夕で身に付くものではありません。発達段階に応じて、以下のように少しずつ学んでいきます。

低学年	「自分と人とは意見が違うことがある」と気付くこと
中学年	「いろんな意見がある」ことを受け入れ、お互いのよいところを探すこと
高学年	互いの意見を尊重し合いながら、みんなが納得できる解決策を話し合って決まること

世の中には自分と違う意見の人がたくさんいます。「自分の思い通りにならないから怒る・排除する」ではなく、「どうしたらお互いに気持ちよく過ごせるか」を考えられる力を育てることが、いじめのない温かい人間関係の土台になります。

○4・5月の生活目標のアンケート結果

全校児童に生活目標のふりかえりを行いました。



4月	月目標：きまりを守り、楽しく生活しよう できた 93.6%	あいさつをしっかりとしよう できた 95.3%	正しい言葉遣いをしよう できた 75.6%
5月	月目標：友達と仲よくしよう できた 96%	あいさつをしっかりとしよう できた 96.3%	正しい言葉遣いをしよう できた 74.7%

結果を見ると、月目標とあいさつについては、意識して頑張れていることがわかります。一方、正しい言葉遣いについては、意識していても実行するのが難しいようです。運動会で一致団結できたのも、お互いを思いやる言葉がけがあったからです。乱暴な言葉やとげのある言い方は、相手の心を傷付け、いじめやトラブルのきっかけになりかねません。反対に、「ふわふわ言葉（温かい言葉）や丁寧な言葉遣いは、相手を大切に思う気持ちの表れであり、いじめ防止に直結します。学校では、「相手が嬉しくなる言葉遣い」について指導していきます。ぜひご家庭でも、言葉遣いについて話題にいただけると幸いです。